

学芸員技術研修会開催要項



趣旨

2015年11月、ユネスコ総会で採択された「博物館とコレクションの保存活用、その多様性と社会における役割に関する勧告」は、1960年の博物館に関する勧告以来55年ぶりのものであり、その特徴は「ミュージアムが教育に果たす役割」が独立した条項(第12項)となったことだ。ICOM2019京都大会を前に、改めて何のために博物館は存在するのか。博物館教育は地域社会の中でどのような意味を持ち、どのような可能性があるのかを問い直す必要がある。それは2020年東京五輪・パラリンピック大会に向け、文化庁が2012年のロンドン大会の18万件を上回る20万件の文化プログラム実施を目標にしたこととも関係する。20万件という数字を達成していくには、開催地東京だけでは難しく、全国各所の地域博物館もその実施拠点とならなくてはならない。そのため今回、持続可能な文化プログラムの研究開発やそれを支える学芸員を含めた博物館創造活動人材の育成とともに、九州・沖縄地域博物館の機能そして連携強化を図るために、研修会を開催する。

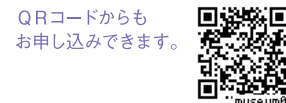
- | | |
|---|---|
| <p>研修会の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現職学芸員のニーズに沿った研修内容です ● 講師陣が多彩で、博物館学の今を知ることができます ● 研修会は自由選択、1講座でも受講できます ● 研修会は九州・沖縄8県で開催します ● グループワークが多いので、館種を越えた人的ネットワークができます | <p>主催</p> <p>「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会(九州産業大学美術館<代表>、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館)</p> |
| <p>共催/協力/後援</p> <p>熊本市現代美術館、浦添市美術館/熊本県立美術館、宮崎県総合博物館/沖縄県博物館協会</p> | <p>文化庁</p> |

学芸員技術研修会一覧表

| 研修番号 | 開催県 | 開催日 | 開催時間 | テーマ | 講師名 | 会場 | 申込締切 |
|------|------|--------------------|-------------|------------------------|---|-------------|-----------|
| 1 | 鹿児島県 | 平成30年 8月9日(木) | 10:00~17:00 | 展示グラフィック | 熊谷 淳一 (株式会社ノイエ) | 鹿児島市立美術館 | 7月6日(金) |
| 2 | 宮崎県 | 平成30年 9月3日(月) | 13:00~17:00 | 資料保存 | 木川 りか (九州国立博物館) | 宮崎県総合博物館 | 8月3日(金) |
| 3 | 大分県 | 平成30年 10月22日(月) | 10:00~17:00 | 展示制作 | 洪 恒夫 (東京大学総合研究博物館) | 大分県立歴史博物館 | 9月21日(金) |
| 4 | 沖縄県 | 平成30年 11月20日(火) | 10:00~17:00 | 照明技術 | 藤原 工 (株式会社灯工会) | 浦添市美術館 | 10月19日(金) |
| | | 平成30年 11月21日(水) | 10:00~17:00 | | | | |
| 5 | 福岡県 | 平成30年 12月17日(月) | 10:00~17:00 | 梱包技術 | ヤマトグローバル ロジスティクスジャパン(株) 九州美術品支店社員 | 福岡市博物館 | 11月16日(金) |
| 6 | 佐賀県 | 平成31年 1月7日(月) | 10:00~17:00 | 博物館教育 | 齊 正弘 (美術家、元宮城県美術館) | 佐賀県立博物館・美術館 | 12月7日(金) |
| 7 | 長崎県 | 平成31年 1月23日(水) | 10:00~17:00 | ユニバーサル・ ミュージアム | 広瀬 浩二郎 (国立民族学博物館) | 長崎県美術館 | 12月21日(金) |
| 8 | 熊本県 | 平成31年 2月12日(火) | 10:00~17:40 | 博物館 リニューアルと 照明計画 | 藤原 工 (株式会社灯工会) | 熊本県立美術館 | 1月11日(金) |
| 9 | 熊本県 | 平成31年 2月25日(月) | 10:00~15:30 | 著作権 | 福井 健策 (弁護士、日本大学芸術学部) | 熊本市現代美術館 | 1月25日(金) |

■主催:「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会(九州産業大学美術館<代表>、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館) ■共催/協力/後援:熊本市現代美術館、浦添市美術館/熊本県立美術館、宮崎県総合博物館/沖縄県博物館協会 ■事業責任者:緒方 泉(九州産業大学地域共創学部教授)

| | | |
|------|--------|---|
| 受講料 | 無料 | <p>申込方法</p> <p>*メールにてお申し込みください*</p> <p>●あて先 >>> museum03@ip.kyusan-u.ac.jp</p> <p>●件名 >>> 学芸員技術研修会(希望する研修名を書く)</p> <p>●内容 >>> 氏名(ふりがな)、所属、職名 研修会に期待すること(講師に聞きたいこと)</p> |
| 参加対象 | 別紙のとおり | |



問合せ先 「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会
中込 潤(事務局長、九州産業大学美術館学芸室長) museum03@ip.kyusan-u.ac.jp



〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1
tel 092-673-5160 / fax 092-673-5757
ksumuseum@ip.kyusan-u.ac.jp
http://www.kyusan-u.ac.jp/ksumuseum/



| | | | | |
|-----------|---|---|---|---------------------------------|
| 1 研修番号 | 研修分野 | 展示グラフィック | 内容 | 9:30 受付 |
| | 講師 | 熊谷 淳一 (株式会社ノイエ代表取締役) | | 10:00 自己紹介、「展示グラフィック」の悩みの共有 |
| ねらい | 最近のポスター、チラシ等広報物を予算の関係から学芸員が行うことが多くなっています。今回は視覚伝達効果が高い広報物を制作するための「キャッチコピー」「文字の配置・大きさ・フォント」「配色」「紙面構成」等について学びます。 | 10:30 グループワーク1「他館のチラシデザインの相互評価」 | 11:00 講義1「チラシ作りの基礎」<チラシ制作の4つの重要要素> | 12:10 昼食 |
| 定員 | 50名 (定員を超えた場合は抽選とします) | 13:00 グループワーク2「チラシの改善点を話し合う」 | 13:15 グループ発表「チラシの改善点について説明する」 | 14:00 講義2「チラシデザインとキャッチコピーの基本技術」 |
| 受講者像 | ポスター、チラシ、パネルのデザインで悩んでいる博物館関係者、大学教員、学生等 | 14:50 休憩 | 15:05 講義3「展示パネル制作の基本技術」 | 15:55 休憩 |
| 開催日時 | 平成30年8月9日(木) 10:00-17:00 (9:30より受付開始) | 16:05 グループワーク3「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」 | 16:35 グループワーク4「今日は意味のある時間になりましたか」 | 17:00 終了 |
| 会場 | 鹿児島市立美術館 (鹿児島県鹿児島市城山町4-36) | 受講上の留意点 | 最近作成した展覧会チラシ、展示パネルを持参してください。受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。 | |
| 昨年度受講生の声 | 一番印象に残っている内容は、「情報量が少ないと、行こうか判断できない」ということです。今までチラシを制作する際は、できるだけ文字数(情報)を少なくした方がスリキりますし、見やすいと思っていました。内容がはっきりしないまま(少ない)情報を載せる事も多いので、チラシに載せるその企画の「価値」(魅力)をもっと企画者からも引き出し、その「価値」(魅力)を伝えるチラシづくりをしていきたいと思いました。 | 締切日 | 平成30年7月8日(金) | |

| | | | | |
|-----------|---|---|-------------------------------------|----------------------------------|
| 2 研修番号 | 研修分野 | 資料保存 | 内容 | 12:30 受付 |
| | 講師 | 木川 りか (九州国立博物館学芸部博物館科学課長) | | 13:00 自己紹介、「資料保存」の悩みの共有 |
| ねらい | 今回は、「科学の力、人力で博物館資料を守る」をテーマに、「展示環境、収蔵環境では何に気をつけたらよいか」「光、汚染物質、虫、カビにどう対処するのか」「災害時にどう対応するか」などを木川先生の講義と宮崎県総合博物館の取組みから学びます。 | 13:30 講義「科学の力と人力で博物館資料を守る」 | 15:00 休憩 | 15:15 演習「宮崎県総合博物館の資料保存の現場を見てみよう」 |
| 定員 | 30名 (定員を超えた場合は抽選とします) | 16:15 グループワーク1「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」 | 16:45 グループワーク2「今日は意味のある時間になりましたか」 | 17:00 終了 |
| 受講者像 | 資料保存・修復に関心がある博物館、図書館関係者、大学教員等 | 受講上の留意点 | 受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。 | |
| 開催日時 | 平成30年9月3日(月) 13:00-17:00 (12:30受付開始) | 締切日 | 平成30年8月3日(金) | |
| 会場 | 宮崎県総合博物館 (宮崎県宮崎市神宮2-4-4) | | | |

| | | | | |
|-----------|---|---|---------------------------------|---|
| 3 研修番号 | 研修分野 | 展示制作 | 内容 | 9:30 受付 |
| | 講師 | 洪 恒夫 (東京大学総合研究博物館特任教授) | | 10:00 自己紹介、「展示制作」の悩みの共有 |
| ねらい | 「テーマは決まり、作品リストも固まったけれど、さあこれらをどう展示しようか?」と、毎回思案する学芸員も多いと思います。今回は大分県立歴史博物館の展覧会を事例に、「展覧会の作り方」を講義、グループワークを通じて学びます。 | 10:30 報告「展覧会の作り方 -大分県立歴史博物館を事例として-」 | 11:10 特別展「福澤諭吉 -独立自尊へいたる道-」会場見学 | 12:00 昼食 |
| 定員 | 30名 (定員を超えた場合は抽選とします) | 12:50 グループワーク1「展示制作のココはいいなあ【like】、ココはこうしたいなあ【wish】というポイントを検証する」 | 13:40 グループ発表 (村上主幹研究員からコメント) | 14:20 講義「展覧会の作り方で留意したいこと」 |
| 受講者像 | 展覧会の企画立案、制作を行なう博物館関係者、大学教員、学生等 | 15:10 休憩 | 15:25 グループワーク2「もう一度展覧会を見てみよう」 | 16:05 グループワーク3「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」 |
| 開催日時 | 平成30年10月22日(月) 10:00-17:00 (9:30受付開始) | 16:35 グループワーク4「今日は意味のある時間になりましたか」 | 17:00 終了 | 受講上の留意点 |
| 会場 | 大分県立歴史博物館 (大分県宇佐市大字高森字字塚) | 締切日 | 平成30年9月21日(金) | |
| 昨年度受講生の声 | 展示はメディアであり、対話を通じて展覧会は完成するので、設計を十分に検討し余すところなくもてなすべし、と言う展示の定義そのものも、もっともで分かりやすかったです。また展示における配慮を、味付けに例えて説明されただけは、先生のこだわりの深さが感じられ、配慮にも段階があり、その段階ごとに、もてなしの手法が異なることが実感でき、たいへん勉強になりました。 | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|---------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| 4 研修番号 | 研修分野 | 照明技術 | 内容 | 1日目(平成30年11月20日) | |
| | 講師 | 藤原 工 (株式会社灯工舎代表取締役) | | 9:30 受付 | 10:00 自己紹介、「展示照明」の悩みの共有 |
| ねらい | 「毎回、展示照明は悩むよなあ」「どんなLEDを選んだらいいの」という皆さん。今回は照明の基本知識を学んだ後、ハロゲン電球、LED等を用いた作品を魅せるための展示空間づくりについて、浦添市美術館を事例にグループワークを通じて学びます。 | 10:30 講義1「照明の基礎を知る」 | 12:00 昼食 | 12:50 講義2「展覧会の展示照明計画の作り方」 | 13:20 グループワーク1「ハロゲン電球、LEDを使って展示空間を作る」 |
| 定員 | 30名 (定員を超えた場合は抽選とします) | 14:30 グループ発表1「工夫した照明演出について説明する」 | 15:10 演習1「藤原先生がグループの展示空間を評価・解説する」 | 16:00 休憩 | 16:15 講義2「ここは押さえておきたい【照明技術のポイント】」 |
| 受講者像 | 展示ライティングの基礎を知りたい、LEDの選択方法を知りたい博物館関係者、大学教員等 | 17:00 1日目終了 | 2日目(平成30年11月21日) | | |
| 開催日時 | 平成30年11月20日(火) 10:00-17:00 (9:30受付開始) 平成30年11月21日(水) 10:00-17:00 (9:30受付開始) | 9:30 受付 | 10:00 昨日のふりかえり(今日の照明作業の目標設定) | 10:30 グループワーク2「他のグループの展示空間を意識しながら、空間全体の照明を考える」 | 12:00 昼食 |
| 会場 | 浦添市美術館 (沖縄県浦添市仲間1-9-2) | 12:50 グループ発表2「工夫した照明演出について説明する」 | 13:30 演習2「藤原先生がグループの展示空間を評価・解説する」 | 14:10 グループワーク3「評価・解説を踏まえて展示空間の再構築」 | 15:10 休憩 |
| 昨年度受講生の声 | ●これまで当館では、大・小2種類のハロゲンスポットだけで対応していたのが現状です。今回、光の性質や人間の目の特性など、基本を知ることができ、作品を正しく見せることの重要性と光の種類による相違を体感できたことがとても大きかったです。これまで比較対照するものがなかっただけに、今後、より光の専門的な視点で作品空間を創造していきそうに思います。 ●光や人の視覚、照明の基礎から、実際のライティング方法まで幅広く学ぶことができ、非常に勉強になりました。色温度や分光分布図は、これまで耳にしたり目にしたりはすることがあったのですが、この研修を受けて初めてその特徴や使い方を理解することができました。「演色性」も初めて学んだので、今後の照明選びに役立たいと思います。 ●年間累積照度について、考えさせられました。当館で考えた場合、自然史・歴史・美術工芸など各分野の資料が展示されているので、LED化の前に各コーナーの限界照度をはき出し、展示資料の入れ替えや照明計画に活かしていきたいと考えています。 | 15:25 講義3「展示用LED照明と導入のポイント」 | 16:10 グループワーク4「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」 | 16:40 グループワーク5「今日は意味のある時間になりましたか」 | 17:00 終了 |
| | | 受講上の留意点 | 脚立を使った展示作業をしますので、動きやすい服装、手袋を準備してください。本研修会は2日連続で行ないます。1日だけの参加はできません。受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。 | | |
| | | 締切日 | 平成30年10月19日(金) | | |

| | | | | |
|-----------|---|---|-------------------------------------|------------|
| 5 研修番号 | 研修分野 | 梱包技術 | 内容 | 9:30 受付 |
| | 講師 | ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)九州美術品支店社員 | | 10:00 自己紹介 |
| ねらい | 「仏像の梱包はどこに注意すればいいの?」「紐の結び方って何回やっても覚えられない」「掛軸を巻くと、いつもタケノコみたいになる」など、作品の取り扱い方、梱包・開梱の仕方を体験を通じて学びます。 | 10:30 講義「学校教育と博物館教育のそれぞれの特徴を考える」 | 11:30 演習1「齋先生と佐賀県立博物館・美術館を探索してみよう」 | 12:30 昼食 |
| 定員 | 30名 (定員を超えた場合は抽選とします) | 13:20 グループワーク1「佐賀県立博物館・美術館をモデルに教育プログラムを企画してみよう」 | 14:10 演習2「教育プログラムの発表と齋先生からの講評」 | 15:10 休憩 |
| 受講者像 | 梱包・開梱技術に関心がある博物館関係者、大学教員、学生等 | 15:20 グループワーク2「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」 | 16:20 グループワーク3「今日は意味のある時間になりましたか」 | 17:00 終了 |
| 開催日時 | 平成30年12月17日(月) 10:00-17:00 (9:30受付開始) | 受講上の留意点 | 受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。 | |
| 会場 | 福岡市博物館 (福岡県福岡市早良区百道浜3-1-1) | 締切日 | 平成30年11月16日(金) | |
| 昨年度受講生の声 | 教わったことはほぼ全て実践的だったので、日常業務に活かせる。特に焼き物の梱包は、共箱のない資料を輸送、保管するにあたり大変参考になった。また、借用先で、先方に不安を与えない梱包(仕上りの美しさを含む)は心がけていきたいと思う。 | | | |

| | | | | |
|-----------|---|---|---|--------------------------|
| 6 研修番号 | 研修分野 | 博物館教育 | 内容 | 9:30 受付 |
| | 講師 | 齋 正弘 (美術家、元宮城県美術館教育普及部長) | | 10:00 自己紹介、「博物館教育」の悩みの共有 |
| ねらい | 美術とは「ビックリ」することである、そして「博物館教育とは、自立した個人を育成するものである」と話す齋先生。米国留学を基に、帰国後の宮城県美術館における長年の博物館教育実践例や佐賀県立博物館・美術館の探検を通して、その意味を考えます。 | 10:30 講義「学校教育と博物館教育のそれぞれの特徴を考える」 | 11:30 演習1「齋先生と佐賀県立博物館・美術館を探索してみよう」 | 12:30 昼食 |
| 定員 | 30名 (定員を超えた場合は抽選とします) | 13:20 グループワーク1「佐賀県立博物館・美術館をモデルに教育プログラムを企画してみよう」 | 14:10 演習2「教育プログラムの発表と齋先生からの講評」 | 15:10 休憩 |
| 受講者像 | 博物館教育に関心がある博物館関係者、大学教員、学生等 | 15:20 グループワーク2「講義・演習を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」 | 16:20 グループワーク3「今日は意味のある時間になりましたか」 | 17:00 終了 |
| 開催日時 | 平成31年1月7日(月) 10:00-17:00 (9:30受付開始) | 受講上の留意点 | 受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。美術館内外を探索しますので、動きやすい服装、靴でご参加ください。 | |
| 会場 | 佐賀県立博物館・美術館 (佐賀県佐賀市内1-15-23) | 締切日 | 平成30年12月7日(金) | |
| 昨年度受講生の声 | 齋先生の講義を受けたあとでも、「スクーリング」から抜け出すアートワークを考察するにはもっと頭と心を柔らかくする必要があると、午後からの各グループのプレゼンテーションを見て痛感しました。「自分が受けた教育しかできない」を肝に銘じなければならぬと感じました。 | | | |

| | | | | |
|-----------|---|-----------------------------------|----------------------------------|--|
| 7 研修番号 | 研修分野 | ユニバーサル・ミュージアム | 内容 | 9:30 受付 |
| | 講師 | 広瀬 浩二郎 (国立民族学博物館准教授) | | 10:00 自己紹介 |
| ねらい | 「無視覚流鑑賞法とは?」「見常者と触常者とは?」「ハンズオン展示の意味は?」「なぜさわることが必要なのか?」など、ユニバーサル・ミュージアムの疑問を広瀬先生の講義とさわ体験を通じて学びます。 | 10:30 講義「無視覚流鑑賞法の極意」 | 12:00 昼食 | 12:50 グループワーク1「無視覚流鑑賞法の体験(1作品目)」 |
| 定員 | 30名 (定員を超えた場合は抽選とします) | 13:20 グループワーク2「無視覚流鑑賞法の記録記入、共有」 | 13:50 グループワーク3「無視覚流鑑賞法の体験(2作品目)」 | 14:20 グループワーク4「無視覚流鑑賞法の記録記入、共有」 |
| 受講者像 | ユニバーサル・ミュージアムに関心がある博物館関係者、大学教員、学生等 | 14:50 休憩 | 15:05 グループワーク5「見ながらさわってみよう」 | 15:55 グループワーク6「無視覚流鑑賞法の体験を通じた疑問をまとめ、質問してみよう」 |
| 開催日時 | 平成31年1月23日(水) 10:00-17:00 (9:30受付開始) | 16:35 グループワーク7「今日は意味のある時間になりましたか」 | 17:00 終了 | 受講上の留意点 |
| 会場 | 長崎県美術館 (長崎県長崎市出島町2-1) | 締切日 | 平成30年12月21日(金) | |
| 昨年度受講生の声 | 最も強く感じたのは大勢で作品を見ているはずなのに、目隠しで作品をさわると、その「物」との1対1の感覚が強くなり、作品がより身近になるということです。また目で見ると、タイトルにより固定観念が生まれてしまうので、見ずにさわる方がそれぞれの感じ方がバラエティに富んでいる気がしました。 | | | |

| | | | | |
|-----------|--|---|-------------------------------------|---------------------------------|
| 8 研修番号 | 研修分野 | 博物館リニューアルと照明計画 | 内容 | 9:30 受付 |
| | 講師 | 藤原 工 (株式会社灯工舎代表取締役) | | 10:00 自己紹介 |
| ねらい | 「リニューアルに当たって照明計画はどうすればいいだろうか?」「照明器具のLED化の話もあるけれど、選択の基準は何だろうか?」「学芸員と財政担当者、設計施工業者との折衝で留意することは何だろうか?」などの疑問を、リニューアルを終えた「熊本県立美術館」の事例から学びます。 | 10:25 講義1「展示照明 -基礎からライティングまで-」 | 12:00 昼食、移動(講堂から1階展示室へ) | 13:00 演習1「照明器具による違いを調べる」(1階展示室) |
| 定員 | 30名 (定員を超えた場合は抽選とします) | 13:50 移動(1階展示室から講堂) | 14:00 講義2「博物館リニューアルに当たっての照明計画の留意点」 | 15:50 休憩 |
| 受講者像 | 博物館リニューアル担当者、施設の照明計画の基礎知識を知りたい博物館関係者、大学教員等 | 16:10 報告「熊本県立美術館のリニューアルについて」(林田龍太主任学芸員) | 16:40 移動(講堂から1階展示室へ) | 16:50 演習2「美術館のリニューアルを見学する」 |
| 開催日時 | 平成31年2月12日(火) 10:00-17:40 (9:30受付開始) | 17:10 移動・見学(1階展示室から2階展示室へ) | 17:30 移動(2階展示室から講堂へ) | 17:40 終了 |
| 会場 | 熊本県立美術館 (熊本県熊本市中央区二の丸2) | 受講上の留意点 | 受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。 | |
| | | 締切日 | 平成31年1月11日(金) | |

| | | | | |
|-----------|--|---|---------------|----------------------------------|
| 9 研修番号 | 研修分野 | 著作権 | 内容 | 9:30 受付 |
| | 講師 | 福井 健策 (弁護士、ニューヨーク州弁護士、日本大学芸術学部客員教授) | | 10:00 開会行事 |
| ねらい | 「どんな情報が著作権で守られるのか?」「どんな利用に著作権は及ぶのか?」「何如まで似れば侵害なのか?」「PD(パブリック・ドメイン)とは?」など、日ごろ文化芸術・教育に関係する皆さんが悩まれている著作権に関する考え方、対応法を学びます。 | 10:15 講義1「どんな情報が著作権で守られるのか」「どんな利用に著作権が及ぶのか」 | 12:00 昼食 | 13:00 講義2「著作権の限界」「アーカイブの挑戦と権利の壁」 |
| 定員 | 80名 (定員を超えた場合は抽選とします) | 14:10 演習「皆さんからの質問に答える(事前アンケートを基に)」 | 14:50 休憩 | 15:00 グループワーク「今日は意味のある時間になりましたか」 |
| 受講者像 | 著作権対応で悩んでいる博物館、図書館・行政・学校関係者、大学教員、学生等 | 15:30 終了 | 受講上の留意点 | |
| 開催日時 | 平成31年2月25日(月) 10:00-15:30 (9:30受付開始) | 受講者は館、団体等の紹介リーフレット等があれば、交換交流してください。 | | |
| 会場 | 熊本市現代美術館 (熊本県熊本市中央区上通町2-3) | 締切日 | 平成31年1月25日(金) | |